

(cm)
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70

Concept

子どもの成長と共に
住まい方を見直す
タイミングと工夫。

子どもの心豊かな成長のために、住まいは重要な役割を果たしています。安心・安全な住まいであることはもちろん、子どもの好奇心や想像力を養うさまざまな工夫があれば、子どもはのびのび成長し、親は子育てを楽しむ余裕ができます。そして住まい方が変わりやすい子育て期のリフォームは、タイミングと成長していく子どもを見据えたプランをすることが大切です。

ぐんぐんティーン期



自立を促しながらもより絆を深める間取り。

親との距離が少しずつ離れていき、ひとりの時間が増えるティーン期。勉強に集中したり、音楽を聴いたり、将来に想いをめぐらせたり…不安や悩みも増え、ひとりでじっくりと考える場所が必要になります。同時に、困ったときはいつでも相談に乗ってあげられるように、家族が自然とふれあう間取りにする工夫が不可欠になります。

〈お気に入りの個室〉

子ども自身がコーディネートすることで、部屋への愛着が生まれます。



好きな色や素材を使って、心地よい自分好み空間に。



さらに室内窓を設置すると、何となく様子を感じ取ることができます。



子供部屋は、リビングを経由する場所がおすすめ。子どものプライベートを尊重しながら、必ず顔を合わすことができます。

〈ひろびろ洗面室〉

忙しい朝でも急かすことなく、並んでゆったり身支度。思春期になった子どもと、自然に会話を交わす時間に使えます。



のびのびキッズ期



好奇心を刺激し、生活習慣を身につける工夫。

何にでも興味を持ち、自分でやりたがるキッズ期。いろいろなことに挑戦させて、その経験を通して沢山のことを学んでほしい…住まいに工夫があれば、おうち体験でも十分可能。生活動線に合わせて回遊できる間取りや自分専用コーナーなどを充実させることで、楽しみながら自然とお手伝いや自分の管理ができるようになるでしょう。

〈隠れ家〉

家の中に小さい“隠れ家”空間を設けると、子どもたちは想像力を膨らませ遊びを考えて、とことん楽しめます。



クローゼットや押入をリーディングスツクに。自分だけの世界で読書に没頭できます。



楽しく遊んで、その後の片付けも苦にならない収納スペースと方法を考えてあげると、自然と片付け上手な子どもになるはず♪

すくすくベビー期



安心・安全で、いつも気配を感じられる空間。

ひと時も目が離せないベビー期。キッズ期までママは家事と育児に追われます。効率の良い家事動線、床にモノを置かないような収納計画、見渡せる間取りなど、家事と育児が両立しやすく、赤ちゃんもお世話するママもパパもお互い快適で安全に暮らせる環境づくりが大切です。

〈小上がりスペース〉

キッチンにいてもちょうど子どもと目線と合う高さの小上がりスペースは、常に様子がわかり安心。お昼寝やおもちゃ遊び、洗濯たたみ等の家事でも大活躍です。



小上がりは、世代に合わせていろいろな使い方ができるので、長い目で見ても大変有意義な過ごし方ができるスペースです。

食育

大人のやることに何でも興味を持つ年頃。一緒にご飯やお菓子を作ったり、自然とお手伝いできるスタイルです。



オープンキッチン

見守り

広々見渡せるオープンキッチン。家事をしながらも子どもの様子を確認できます。



〈安全対策〉



一階からロフトまでつながる階段。冷暖房効率とお子様への安全性を考慮して、鍵付きの間仕切り建具を設置。光が抜け、姿も確認できるデザイン。必要に応じて全開口もできます。